제174호 1909. 7. 30.
(一) 第百七十四號　明治四十二年七月三十日（金曜日）　日曜日及祭日の翌日休刊　(日刊)　(明治十一年十二月三十日第三種郵便物認可)

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

雪中の露營

片々生

▲炎熱燒が如し●●●●● 此時に於て寒風凜烈肌を裂くが如き冬の西比利亞を懷ふ、心胸自ら冷涼の感起る、是亦一の淸涼劑ならんか、僕嘗て西比利亞北部に犬橇車旅行を試みたることあり、橇車は十二頭の犬を以て曳く士人(ギリャーク)貳人を以て御者となす一週間の食料として黑麵包、凍乳、凍肉汁、若干を積載す、旅行の目的はニコライスクより海峽七里の氷上を突過して薩哈連島の北部を視察せんとするにあり、十二頭の犬は士人の命令に從ふて走る、其走るや頗る速也、一時間優に五哩を走る、然れども精力長く續かず、爲に往々露宿せざる可らざる運命に會す、旅程の二日目デカストリ灣近傍に於て林間に泊するの止むを得ざるに至る、如何にして冱寒を防ぎて眠るべきかを士人に問ふ、士人敎て曰く、雪を深く堀て其中に眠るべしと。

▲寒風肌を刺して眠る能はず●●●●● 冱寒の土地を旅行する事なれば素より防寒の衣備はれり、身は毛織及皮を以て蔽はる、士人の言ふが儘に深く堀りたる雪穴に入りて橫はる、十二頭の犬と二人の士人は僕の身邊を保護す、疲れたる身は橫はると共に眠氣を催し來る、未だ十分も眠らざるに風の當る上部の半身に痛みを感じて覺醒す、之れ謂ふ所の毛皮及毛織を通じて寒風の刺す爲也、下部の雪に接したる半身は稍暖を覺ゆ、更に寢返りして眠る亦十分時ならずして上部半身の痛を覺へて目は覺めたり、其風の寒さは凍ると云ふよりも寧ろ烈ならん、到底之を形容するの字句なし、風が身を切るごとは即ち此事也、眠られぬ儘穴外に出れば犬と士人は左も心地よげに雪上に眠る、是れ習慣か將た神經の鈍き爲なるか、僕は思ひ出すさへ夏向慄然とする。

○ハガキ文集

●渡韓せんとする友へ　青楓

渡韓する……めつそうもないてとだ止し給ゑ、ヱ君實際止した方が宜いぜ、僕は飽迄も君に來る勿れと勸告せざるを得ないよ。朝鮮は我利〳〵亡者の寄所、射倖利趨の徒輩のウョ〳〵して居るところだよ、君等天眞爛美な齡の少年を片時たりとも、可惜無趣味な韓土の露に潤さしむることは、僕の斷じて忍びんところだ。僕は繰返して言ふよ、君、來る勿れと。

●雨の窓　同

此のスケッチを何と見るね、れ尻の大きいところ、兩足の大根に髣髴たるところ期せずしてポッ、出の赤毛布先生と判するだらうが、れ生憎これでも、京城の高女學生なんだ、から聽くだらう。大根先生、絹張洋傘の中から、黃色な聲だして『エッチ、アイ、エスでハズよ』而も是が第四年生徒の佛語にあらぬ、英語のスペルと聞いては、君ますく魅かざるを得ないちやろう。

新刊紹介

●東京經濟雜誌 一千五百號の紀念として發行せるもの重要記事は一千五百號に對する名家の祝詞並に所感及び「操業短縮問題」「日本興業銀行と外資輸入」「職工敎育實施會の設立」等なり(十二錢東京京橋區彌左衛門町東京經濟雜誌)

●月報 六月廿六日より七月二十五日迄に於ける仁川一般の經濟界を詳述したるもの一覽最近に於ける仁川港の消息如何を窺ふに足るべし(第九號仁川日本人商業會議所編纂)

中山大納言

第九席　桃川燕玉演

すると其處へ田川八之進といふ、今年二十五歲、若年ではございますが留守居見習といふ、誠に交際家でございます、柳橋でも段町でも藝者などは片ッ端から知つて居ると云ふ、誠に粹な田川八之進、それへ出て來て 八『コレ〳〵靜かに致せ靜かに……御上が御在遊ばす、御居室の近い處で何だガチ〳〵怒鳴つて……オ、誰かと思つたら小竹に小梅に峯吉か、靜かにしろ靜かにしろ 小『オヤ誰かと思つたら田川さん、好い處でれ目に懸つた、あの殿樣へ是非お目に懸らるやうれ前さん執持つて頂戴ョ 八『いくら貴樣達が何と言つても御上は御逢ひはない最早御病氣は癒つたから早く歸つてくれ 小『だつてれ前さん、れ目に懸らないで歸つた日には內藏頭樣から御叱を受けて出入止になつて仕舞ひますワ 八『何でも逢はなくちやア私達が此處を動きませぬ 八『そんな事を言つては吾々が困るから、後生だ歸つてくれ、なア、賴むから…… 蜂『田川さんが賴むと仰有るならよく〳〵だから、それぢやア貴所歸つて上げますが、其代り只はいけませぬ、何かあの御馳走なさい、御馳走でもなすつたら歸つて上げる 八『そんなに恩に懸なくても宜い、まア好し〳〵、馳走をするから其を喰て歸つてくれ、サア〳〵此方へ來い」やがて田川八之進此方の座敷へ伴て來て三人の女に馳走をするイヤどうもたつしや者の三人の藝者、遠慮も何もあらばこそ喰ふは〳〵飲は〳〵ガブ〳〵パク〳〵飲だり喰たり腹一杯にやらかし『大に今日は御馳走樣有難う存ますちやアれ前さん御仰しやる通り歸りますから殿樣に宜く」と三人の女め散々暴れて歸つて來た此段を內藏頭樣へ申上るから、備前樣手を拍つて笑ひなすつて『好し〳〵、それでは越中もちと驚いたろう、乃公の腹癒が出來た、サア早々當所を出立に及び。品川へ參つて妓共を殘らず總揚をしてやらう、彼等に樂をさして遣はせ」そこで神奈川を立つて品川の宿へ參りまする、宿中の妓を總揚をしていやドンチャン〳〵大騷ぎを始めた。越中樣は內藏頭樣が御立ちになつたから、ヤレ有難いと續いて發足をして、品川手前へ掛つて聞くと內藏頭樣は品川で留連して居る。宿の妓を殘らず總揚げだと云ふ、ていつ大變な處に通り掛つた。仕方がないから川崎の宿へ引返し本陣へ御泊りだ。越中樣が後へ戾つたと云ふのを聞くと、備前樣手を拍つて喜んで『好し〳〵能々越中も困つたと見ゆる、これで小氣味がよい」と其處で品川を立つて大名小路の御屋敷へ御歸りになる、之を聞いて越中樣も漸く川崎を立つて江戶表へ御乘込みになつた、で越中樣が江戶表へ御歸りになりまして、亂もなく御觸出になつたのが、士は文武の二道を勵み遊里などへは餘り立廻らざるやう、但し吉原町等見物に參る節は、主人に斷り候上參るやうにと云。之れを聞くと備前樣が御家中一般へ、文武の二道は休息申付ける其代り遊藝は何なりとも勝手次第に出精を致せ騷ぐ分にはいくら騷いでも苦しくないと云ふまさか御家來方が殿樣から御許しが出たからと云つて、笛や太鼓で騷ぐ氣遣もございませぬ、併し其噂は御役人衆の耳に入り、困つた男は備前だと云ふ、諸役人苦い顏をなさつて居ると、備前樣から『今日松平內藏頭吉原町見物に參りまする、念の爲め御斷り申上げる、『屆けて置いて、是から吉原町へ行列を立つて御繰込になる、見物に行くと云ふのだから仕方がない、御役人も其儘捨てゝ置くと、吉原町へ御出なすつて、三日の間大門を打つて金銀湯水の如く御遣ひ捨て、スッチャン〳〵大騷ぎをやらかす何分それでは捨置けませぬから備前樣を御呼出しになつて『承れば武藝は休息申付け遊藝出精を致せと家中一般へ觸を致した由以ての外の儀に承知致すが、如何の考で左樣な事を家中一統へ申觸れられた」御老中方が御尋になると、內藏頭殿御笑ひなすつて 內『左樣、武藝學問、文武の二道は士常の嗜みだ、仰しやる迄もなく內藏頭家來共は平常文武の二道は出精罷在る、あまり學問武術に凝り過ぎて身体でも惡くするといかぬから、そこで今般文武の二道休息申付け、浩然の氣を養ふ爲に遊藝勝手次第に仕つるやう家來共へ申聞かせました。文武の二道は態々御達しがなくとも、內藏頭家來共は常に息りましたことはございませぬ。憚りながら……エヘン」空うそ吹いて大澄しに澄し込んで席を立つてしまふ、御老中方が開いた口が塞がらない、「いや困つた男は內藏頭、まア〳〵捨て置け」と越中樣も苦笑ひをなすつて、其後はどんと相手に御成なさらない。

京城新報

韓銀の重役

韓銀條例既に發布せられ、當局者は着々として創立事務を進行しつゝあり、九月中には創立發表の準備成り、十月末には株式募集を了し、十一月初旬を以て其成立を見るに至るべしと云ふ、此時に際し余輩が最も興味を以て考ふる所の問題は實に同銀行重役の人選なりとす。

今更言ふ迄もなく、現世紀に於ける各種の事業は素より資本及組織の如何によりて成功不成功に關係すべしと雖も、最も重要なるは其事業經營の任に當る人物の如何にあり、而して將さに設立せられんとする韓國銀行は幸にして其事務に從事する所のものは永く第一銀行にありて經驗と熟練とに富むものを引受くべしと云ふ、是れ韓銀に取りて大なる利便にして明日より事務を開始するも何等の差支へなかるべし、唯だ茲に懸念に堪へざることは如何なる人物が總裁以下の重役たるべきかにあり、素より同行の重役は條例及定款の規定する所によりて人選するものなるべしと雖も、實際に於て同行の監督者たる政府が人選の權を掌握するものなるべし、傳へ聞く所に依れば總裁には現拓殖銀行頭取美濃部俊吉氏及現一銀韓國總支店支配人同行取締役たる市原盛宏兩人が目下候補者として數へられ居ると云ふ、余輩は美濃部市原兩氏の人物技倆に就て [illegible]

[illegible] 韓銀總裁の位置たるや、其重要の程度に於ては總裁と大に異る所のものあり、其施設の如何によりては大にしては帝國の大陸經營の基礎に大なる關係を及ぼすものなり、夫れ然り之を以て總裁たるべき人物は國家社會の爲に己を空ふして誠心誠意國家社會を念とする覺悟なかる可からず、者に最大幸福を與ふるの措置に出づる能はざるべし、終に公私よりも怨聲を放れんとし、而して總裁に次で重要なるものは總裁を補佐する所の他重役也、是れ又總裁に從ふて一意專心に公平に行務を處理し國家と株主とに滿足を與ふるの人物ならざる可からざる也、之を要するに余輩の希望は重役たるべき者は餘りに銀行に日々直接の利益を擧るを心懸け或は一身に種々の纏綿せる事情を背負ひ居る人物を擧ることなく、如何なる場合に於ても如何なる人に向ても「ノー、エース(諾否)」を截然明瞭に云ひ得る人物を撰任することゝ也、韓銀設立の趣意を完ふするもせざるも經營者の人物如何にあり、是れ余輩が其希望を披陳する所以也。

東京電報

▲韓太子歸韓(?)(明年)

伊藤公爵は往訪の客に語つて曰く太皇帝渡日の說あるも右は決定したる事に非ず然し太皇帝にも韓太子渡日後如何に成人したるや一日も早く面會したしとの御希望あり這は親子の情として無理ならぬ事なるが予は過日暇乞謁見の際今年は東北及北海道を見學さるれば明年夏季休暇には必ず太子同伴渡韓し歸途は滿州及北韓(元山方面)地方を巡遊する事を御約束したりと

▲梨本宮御安着

梨本宮及同妃兩殿下には二十九日朝無事新橋に御着あり皇族を始め官民の奉迎盛んなり

▲滿鐵總裁用向

中村滿鐵總裁上京の用向は同社附屬銀行設置の件及び安奉鐵道並に吉長線に關する打合せ其他重要の用向なるが就中至急用向は滿韓鐵道の合併なりと(以上廿九日發)

地方電報

●大同江出水後報

大同江は其後約二十五尺增水し新市街一部迄浸水隆德里外用面に於ける大部分の家屋は水屋棟に及び始めて人民を避難せしめつゝあり(二十八日夜發)

雜報

●兩皇室の親電

韓皇は我天皇陛下に對し廿七日左の親電を發せられたり

陛下が伊藤公爵を我太子の輔育總裁に任せられたるに就き我太子の教育に關して常に懇篤周到なる叡慮を加へらるゝは朕の感激措かざる所なり茲に深厚の謝意を表す

天皇陛下は韓皇に宛て二十八日左の親電を寄せられたり

太子の輔育總裁に任ずる電信を寄せられ厚なる謝意を致す

●地方費と國税(附加)

地方費徵收の件に關しては屢々報道する所ありたるが既報の市場、旅閣酒幕、渡津等の如き雜稅を課するのみにては稅額少くして地方費徵收を以てする經營を完全ならしむる能はざるを以て目下內部及度支部の間に於て國稅の附加稅を徵する件に就き折衝中なりといふ

●度量衡の改正案

度量衡の改正案は農商工部に於て起草中の處目下略成案したる由なるが其內容は政府の外製作輸入又は販賣することを能はざることゝ政府は隨時檢査を行ふこと修理は政府又は政府の許可を受けたるもの及び之れに對する罰則等合せて九條附則三條なりといふ

●韓皇の謁見停止

韓皇には暑中に付き九月二十日迄は特別典禮の外總て謁見を停止せらるゝと

●各大臣へ慰勞金

韓皇には各大臣に對し暑中慰勞金として二千圓乃至三千圓下賜の件內定せり

●府民會と窮民救濟

漢城府民會長俞吉濬氏は此程其筋に向ひ窮民救濟の爲め相當殖産の道を講ぜられんことを稟請したり

●地方費と豫算編成

地方費の課目課率は內部と度支部と協議の上之れを定め而して其豫算を編成すべき筈なりしが課目課率と豫算を一時に定むべき樣誤解せるものゝある由なるが局に在る者の最も注意を要すべき點なりと

●愛婦會長の通牒

愛國婦人會長代理副會長一條公爵夫人より此程式部官閑院宮附家令松井修德氏を本會事務長兼會計監督代務に囑託したる旨韓國本部長に通牒ありたりと

●李根澤東上は虛說

李根澤東京に赴きたる由大阪某新聞に揭載ありしも右は全く虛說にして現に李は京城に在り其妻の一族との財產係爭問題の爲め二十九日警視廳に召喚せられたりといふ

●檢疫所長の內定

輸出牛檢疫所は愈々來る八月廿日より開始せらるゝ筈なるが所長には西川勝殿氏に內定したる由又同檢疫官補は粕原源四郎氏に決定し近々赴任すべく外に二名の同檢查官補は目下人選中なりと

●參奉と祠社取締

祠社の參奉は其俸給の豫算なきを以て假令缺員あるも之れを任命する能はざるが今般內部と度支部と協議の上豫算の出所を定めて之れを任命することゝなりたる由なるが備之れと同時に參奉に關する規則を制定する由なれば之れより祠社の取締りも緒に就くべしと云ふ

●二三雜輩の運動

吳一泳、徐丙玉、許萬弼等は上海に武官學校を設立すとの名目にて太皇帝內帑より一萬圓を引出さんとせしも成功せざりし爲め湖て同類の內訌を起しつゝありと

●赤十字會計制定

日本赤十字社にては今般韓國本部規則の實施と共に同本部會計を特別會計となし管內社員の年醵金其他の收入金を以て本部經費蓄積金及患者救療又は天災事變の費用に充つることを得ることゝし右に關する會計規則を制定したりと

●平壤と稅關出張所

平壤には從來保稅貨物收扱所あるに止まり同地貿易追々發展し來り單に保稅貨物の取扱のみにては不便なるより一般貨物の輸出入其他諸般の關稅事務を取扱ふ爲め今回同地に稅關出張所を設置することゝなり八月一日より之が事務を開始すべしと

●國道と縣道の區別

如何なるものを國道として度支部に屬せしめ如何なるものを縣道として觀察道に所管せしむべきやに就ては目下內部及度支部にて考案中なるが地方費徵收成績を見たる上ならでは觀察道に所屬せしむべき程度も明かならずといふ

●韓銀(創立)の順序

韓銀條約の發布に次て之が創立の順序は目下東京にて準備中なるが今其順序を聞くに先づ創立委員の任命ありて後定款及び株式募集の方法を定め之を創立委員會にて決議せし上株式の募集に着手し而して後第一回の拂込をなし續て創立總會を開く筈なるが此の手續をなすには凡そ二ヶ月を要する豫定なるを以て開業は十月頃になるべしと云ふ

●司法權委任と大赦

司法權が日本に委任せられたるに就きては大赦及特赦の權も同時に日本へ移りたるものなりと杞憂せる韓人あり中には寄り〳〵集會を催はするものもある由なるが之れに就き某法學者の云ふ所に依れば司法權委任の事たる單に裁判を爲すの權利を日本政府の手に收めたる迄なれば此權も共に日本へ移りたりと云ふこと能はず韓皇は是れに對して當然其權を保有し居れりと

●水產當局者の研究

水產業改善の目的は啻に漁業の保護奬勵を以て足るものにあらず漁獲物の販賣及び製造等に付ても之を奬勵せざるべからず而して第一の目的に付ては曩に漁業法を制定し本年四月より實施したるも第二の目的に付ては未だ其緒に就かざる有樣なるを以て水產當局者に於ては目下種々研究中なりと云ふ

●三大鐵道の豫算

曾禰統監の新政策たる三大鐵道は平南線の如き既に實測中のものあり今此鐵道計畫の豫算に付き大藏長官の談なりといふを聞くに平南線は去二十四議會の協贊を經て既に百八十八萬圓の豫算に決定し現今は實測に着手し居れるが他二線路の豫算は今後定めらるべきものにて京元線は鐵道管理局時代に於て調査せしもの二線あり一線は千五六百万圓にて他の一線は二千萬圓なるが之を折衷して相當の豫算を作る筈なり次て湖南線及び先に韓國政府の囑託を受け白石博士の調査したる線あり這は最も精密のものなるが是又千五六百萬圓にして其調查書類は目下東京に在り來月中旬に至らば上京して當局に提出の筈なり更に京義線多年の宿題たる追加豫算は大に提出の必要ありと

●天氣豫報(自廿九日午後六時至卅日午後六時)

[illegible]

●京城理事廳改築

京城理事廳事務所は狹隘に過ぐるを以て新築することゝなり目下地均工事中なるが來る十一月迄には竣成すべしと

●暴徒首魁逮捕さる

全羅南道に於て暴威を逞ふしたる故曹京煥の左翼大將李元五は二十八日光州警察署の手に逮捕されたる旨其筋へ電報ありたり

●地方費と私立學校

從來地方に於ける私立學校は概ね市場渡津等の如きものより金を取り立て之を以て其維持費に供し居り政府も學校維持の爲めなるを以て之を認め來りたるも今回此等を地方稅目に編入せらるゝ時は私立學校は忽ち其存立を危くせらるゝ理なるも元來右徵金は政府の恩惠的に認め居たるものにして當然權利として許可したるものに非るを以て已むを得ざる次第なるも左ればとて其爲め廢校に至らしむる如きは忍ぶ能はざる次第なれば當局者は其善後方法に關し考案中也

●覺書の性質

廿四日發表されし司法權委任の日韓覺書は頗る重大のもの故國際條約の形式より云へば兩主權者の批准を經て双互に之を交換すべき筈のものなるも今日の日韓兩國は所謂一家の如き關係なれば對等國の主權者が互に締結せる國際條約の形式に從はざりしもの なりと云ふ

●覺書條文の批難

●●●●國分檢事總長意見

韓國新覺書第二條「日本國政府は一定の資格を有する日本人及び韓國人を在韓國日本裁判所及監獄の官吏に任用すること」の條文中韓人を日本帝國の官吏に任用するは憲法に抵觸する嫌ありとの批難東京學者及政客の間に喧しき由は昨紙我社東電の傳ふる所なるが之に關し國分檢事總長の意見といふを聞くに左の如し

憲法發布以來外國人を我帝國の官吏に任用したる例なく從つて今回の問題に就ては學者間に多少の議論あるは當然なるべし然し予の見解にては毫も差し支なしと信ず其理由は我が憲法第十九條の「日本臣民は法律命令の定むる所の資格に應じ均しく文武官に任ぜられ及其の他の公務に就くことを得」との條文は我帝國臣民の權利を規定せるものに過ぎずして決して外國人が我官吏たる事を否定したるものにあらずされば主權者が外人たる韓國人を帝國官吏に任用するも決して憲法違反にあらず別言すれば憲法第二十一條に「日本臣民は法律の定むる所に從ひ納稅の義務を有す」との規定の如きも帝國臣民の義務を規定したるのみにて在日本外國人には其義務なしと云ふの意味に非ざるなり又或論者中には我憲法が韓國に行はるゝや否やの問題に依つて此の問題を解決せんとするものあるが此は愚論の甚しきものにて本問題は場所に依つて解釋を異にすべきものにあらず若し假りに憲法中外人は帝國官吏に任用する能はざるの明文あれば場所の如何を問はず外人は日本帝國の官吏に任用することなり成程憲法中にも第二十三條の如き日本臣民は法律に依るに非ずして逮捕監禁審問處罰を受くることなしと規定しありても之は場所に依る事にして治外法權を有せざる他國に在ては適用せざるは勿論也尚本問題に關しては伊藤公の憲法義解にも明に欵憲法論として解釋を爲したりと信ず兎に角憲法論として以上述ぶるが如くなるも政略上の問題としては政客間には議論の餘地もあるべし云々と日電は報ぜり

●京商役員會の決議

二十八日午後八時より日本人商業會議所樓上に於て役員會を開き左の二件に付き決議したり

一、特別議員選擧の件

一、土地資買典當の場合に於ける證明查證遲延し甚だしきに至つては二三ヶ月に亘るも尙其の手續を完了せざるものあり爲めに一般經濟界に影響する所鮮なからざるに付き之が取扱を迅速ならしむる爲め統監及び理事官內部大臣漢城府尹に對し陳上書提出の件

●國是遊說會發起會

一進會評議員高義駿の主張に係る國是遊說團は二十八日午前十時より中部圓興社に於て發企會を開きたるが先づ規則制定委員及臨時評議員の選擧を爲し次で日韓兩國の利害を共通せしめ韓國上下に對して殖產を奬勵する爲地方に遊說員を派遣する旨を決議したりと

●明太魚組合集會

中部始洞北倉組合にては今回會合を開き咸北明川郡の漁撈海面測量を農商工部に出願する件等を協議せり

●韓人辯護士集會

韓人辯護士一同は二十五日丁明燮宅に會合法部廢止後の方針につき協議したり

●俵次官の馬山行

俵學部次官は家族を携へ馬山に向け廿九日夜出立三日間滯在の筈なれば三十日の參與官會議には缺席すべしと

●鑛務局長の訪問

鑛務局長工藤英一氏は廿八日着任廿九日局員の案內にて直に各局を訪問せり

●藤波通譯官出張

藤波通譯官は廿九日午前九時發にて東京へ出張せり

●故ベッセル氏遺族出發

西部磐松坊同巖洞居故ベッセル氏遺族は愈々八月中旬歸國すべきに就き家屋の買却方を二三の人に依賴したるが思はしき買手なきに依り家屋の後始末は右二三の人に委任し置き目下家具什器を賣却しつゝありと

●十三聯隊部隊射擊

第十三聯隊は卅一日午前七時より午後四時迄僧坊坪射擊場に於て部隊射擊を施行する由

●大和町微笑會

大和町三の二十九の同會にては三十日夕刻より例會講演ある由

●小田柿捨次郞氏入京

現に三井物產會社重役にして元京城支店長なりし同氏は廿八日入京天眞樓に投宿せり

●敍任辭令

任度支部事務官 度支部事務官 吉田政治
任財務監督局事務官叙奏任官三等 森山誠之
任度支部事務官叙奏任官三等

●正誤

昨紙「澤田松井兩氏歸任」と題する記事中澤田地方局長が二十七日夜歸任すとありしは同夜東上したる誤りにて歸任期は三週間の後なりと

公人私人

▲綱島政吉(統監府技師) 浦尾へ投宿中二十八日釜山へ
▲三木正夫(三菱造船所副長) 巴城館へ投宿中の處同日釜山へ
▲中川乙次(陸軍三等主計)廿八日入京旭館
▲中江喜太郞(步兵二十二聯隊附步兵大尉)同浦尾へ
▲鈴木六郞(載寧憲兵分遣所憲兵中尉)同上
▲山本祐作(長崎高等商業學校教諭)同上
▲萩谷籌夫(仁川商業會議所書記長)同上
▲加藤靜夫(三菱造船所技師) 同日入京巴城館

近事片々

▲祖國の米作は此頃の照込にて滅切り株張り今後の天候順ならば平年以上の作也と
▲韓國の米作も今分なら先以て上等此先降雨順ならば凶作ならず豐年ぢや万作ぢや
▲暑熱の烈しきには閉口するも涼しくて米の實らざるに優る夏は暑かれ冬は寒かれ
▲東拓貸付業と中銀營業と衝突せずやと宇佐川總裁は韓政府に警告せりと事實にや
▲若槻次官曰く東拓は拓殖必要の貸付中銀は一般經濟上の貸付をなす者衝突なし
▲衝突云々の警告をなすは野暮の骨頂也元來東拓の使命は斯る小金貸には非ざる也
▲種々雜多の經營に齷齪は見苦し使命の有處に着手せよ片々は會社の現狀に呆れる也
▲韓國監獄事務を日本の手に取る以上囚徒をして是迄の如く無爲徒食せしむる勿れ
▲司法權委任協約にて今後の費用を日本に負擔するには議會の協贊を得ざる可らず
▲議會は無論協贊を與ふべけれども其豫算に就ては大に議論あらむ是れ當然の事也
▲保護權を行使するに於ては費用の支出は止むを得ざるも冗費の如き毫厘も許さず
▲李根澤政權接近の望絶へたるか窃に渡日して何事か策しつゝありとは果して眞乎
▲彼の渡日に就きては種々の說あるも今昔の這口では何事もならず目の見へぬ奴
▲慶親王辭職は攝政王の勢力增大を意味す不相變北京の政界は暗憺として定まらず
▲雖然慶親王醇良の辭職によりて大勢既に定まる攝政王と獨逸との關係は今後如何
▲自由競爭極點に達し歐洲諸國社會改良說盛に起り來る社會主義者の增加頗る寒心
▲獨逸露國には由來社會主義者多し英國も近頃勞働黨崛起し佛國亦社會主義者殖ゆ
▲佛國新內閣の外相はピション氏に定る然らばデルカッセ暫らく黑幕にて働くのか
▲新首相ブリアン氏は本年四十七歲の若手にしてク前首相に優るの急進政治家也と
▲鶴原定吉君餅屋に庇を逐ふて失敗す此上は唯肥料屋の親方となりすますのみにや

●トロール船の行衛 トロール漁船萬生丸は釜山港を去りてより杳として其消息を [illegible]

●平壤日報の發刊 平壤には從來實業と日々の二紙ありて互ひに對抗し居たるが今 [illegible] 浦汐にて發刊せる

●又々大東共報押收 [illegible] 大東共報第五十一、五十三號は治安妨害の [illegible]

（刊休日翌日祭及曜月）日十三月七年二十四治明　報新鮮朝　（日曜金）　號四十七百第　（三）

相談の相談

（何んでも御相談に應じ升）

問 小生は當地に入り込み最早六年になりますが身に得る所は更にありません就きましては今後京城で將來見込みのある貿易商店に奉公したいと思ひますが何町の何と云ふ店が一番有望ですか御相談致します（不得生）

答 見込みある商店は多分にあるが、先づ夫れより前に承知致し度いのは貿易商店に住み込んで將來使用人として暮す積りか又は業務見習の上他日自ら成功する積りかである、若し又後日獨立して活動する素地を作る爲めの奉公なら、同じ貿易商にも特殊がある、目的に依つて見込みも違ふし望みの有無も分別するから夫れを前に聞きたいです（係）

問 私は韓人から地所を買ひ入れまして其所へ日本家屋を建築したいと思ひますが確な建築請負業者に依頼して總べて任せた方が得か個人で建築が得策か猶ほ請負する建築方が得で御座いますか紙上にて御答へが願ひたい少々無理な相談ですかな（木生）

答 地所は京城でどの邊かが不明なるから判斷しかねますが若し龍山か南大門通りの土地なら何れも請負業者に依頼なされた方が得策と思ひます、と云ふのは慣れぬ材木其の他諸材料の購入に就て乾燥致す等の事がなければ監督にも骨が折れるからです、建築業者中の確實なる者と云ふ御注文の通りだが隔りはない、其所ですから唯だ其の組や店の信用に及ぼすものです、其所で多くは大工事が得手だが大小工事とも喜んで請けるのは旭町三の柴田芝六、南大門通二の尾瀧組、本町六の須々木權次郎等の諸家です、併し他の家でも厭な顏は致しはせぬから便宜に從つて相談なさい（係）

●暴徒の參謀長

▲警視廳の手に捕へらる

嚢きに龍山停車場に於て逮捕され内亂罪として死刑に處せられたる京畿道に於ける暴徒の巨魁李殷瓚の頭領となりて帷幄に在りて暴威を恣にせし京畿道抱川郡西面瓦谷生當時京城西部保民洞統班李周文（四六）は去る二月肩書地に於て警視廳訊問課の手に逮捕され今二十九日内亂罪として京城地方裁判所に送致されたるが今其顛末を記せんに李は祖先八代より兩班と稱して可なりの財産を有せしが十年前家財を蕩盡して當京城に入込み爲すこともなく暮し居たるが彼の光武十一年七月に於ける日韓協約の締結に際し時の政府を轉覆して日本の保護を免かれんとし郷里に歸りて成すあらんとしたる處偶々李殷瓚は同一の目的を以て江原道原州に立ち自ら倡義大將と稱して所謂義兵一千五百餘名を率ひて上京せんとするや李周文乃ち李殷瓚の幕僚たる大將となりさなし走つて其の下に到りその信認を得て其參謀長となる爾來楊州、抱川地方に於て横暴を極め良民を威嚇して金品を強奪すること數知れず而も部下一部隊の警察隊又は日本軍と相戰ふこと約十四、李殷瓚自ら將として討伐隊と交戰すること前後三回に及びたるが其後守備隊憲兵警察隊の配置周密を加へ暴徒の勢力漸次減退せんとするや表面歸順を裝ふを以て利なりとなし隆熙二年八月二十四日抱川郡内洞面奄峴里崔奎灝方に於て歩兵第五十一聯隊付吉井中尉より免罪文證憑の下付を受けたるが元來眞意より歸順したるものにあらざれば越へて九月再び李殷瓚の部下となり抱川、楊州兩郡に於てます〳〵暴威を逞ふし楊州郡接洞面長に恐嚇状を送りて數回に金二百餘圓を強奪し又た同郡金村面長に同一の手段を講じて軍資金の支出を強ひ其の之れを容れざるや面長の子供を拉去し人質として金三千兩（六十圓）を強奪する等其の暴威至らざるなく本年一月に及び李殷瓚を從がして自から三十名を率ひ先鋒に將として抱川憲兵隊を襲撃したるが三月に至り李殷瓚は上京して劃策する處あらんとしたるも龍山停車場に於て逮捕さる處となりたれば周文は之れを救出さんとして京城に入込み肩書地に潜伏して時運を窺ひ居たる處六月十五日に至り遂ひに死刑に處せられたれば憤慨措く能はず自ら後繼者となりて再擧を圖らんとしたるを前記警視廳訊問課の探知する處となり遂に本月三日を以て逮捕され本日地方裁判所に送致されたるが發するに臨み周文は係官に向ひて余は國家の爲めに義兵を擧げしかも今縲絏の身となりたる以上は自ら進んで死刑に處せられんことを望むも唯遺憾さは斯くの如く捕はれの身となるならば表面とは云へ一度歸順したるは殘念なりと傲語したりと

●郵便所に入りし賊

▲恐ろしき刑事の眼力

仁川署刑事阪下氏が或る犯罪事件捜査の用務を帶び一昨日京城に至り歸途南大門發十時の列車に乘り組みたる所乘組客中年頃三十五六にして人相好からぬ男の擧動頗る不審の點ありしかば常時目を離さず注目し將に下車せんとする際捕ふべしとの心算にて仁川驛まで來り共に下車してプラットホームに出でたる時しも今井、石川の二刑事は又他の犯罪捜査の爲め同驛に出張し居たれば阪下刑事は二刑事に目配せをなし前記怪しの男を捕へ直に訊問に及びたる所怪しの男は印紙商にて決して怪しきものにあらずと申し立てたれど刑事は益々不審を懷き所持品を取り調べたる所番三點印紙薬書數十葉の外濡れたる黒足袋を持ち居たれば刑事は窃盜に入るには多く濡れたる足袋を用ゆるものから此奴泥棒と鑑定を着け其の場は其儘にして本署に引致し嚴重なる取調べをなしたる所怪しの男は遂に包み切れず白狀に及びたり彼は山口縣佐波郡中關村宮川庄吉（三五）と云ふものにて二十五年以來諸所にて窃盜を働き前科六犯（處刑を受け先頃まで持兇器窃盜にて福岡監獄にて六年の懲役を受け本月出獄したるが内地にて思はしき所なきより去る二十三日釜山に渡り一仕事せんとしたるも遂に果さず夫れより直に開城に赴き支那人を荒し廻らんとて旅舘大津に川原某と名稱りて宿泊し動靜を窺ひ居たるも思はしからざるより這度は京城に取つて歸し宿屋に泊らで直ぐ新町に至り何處が荒し具れんものと諸所を搜す中不圖目に着きたるは

新町郵便所

で庄吉は直に同所に忍び入り衣類數點印紙薬書外雜品數百圓のものを窃取し何に食はぬ顏して仁川に逃がれ來れること逐一自白に及びたるが尚餘罪ある見込にて目下嚴重に取調中

●仁川の石器に就て

▲和田觀測所長の談

去二十六日以來萬石町八景園内の官舍附近に於て發掘中なる石器時代の貝塚は其積層は僅に二尺位に過ぎざれども其存在區域は稍廣大にして觀測所構内より萬石町松林里等に至る界隈には點々其所在を認めり故に今日まで八景園内に於て發見したるは石鏃、石刀、石斧、石重、石系捲、石盆及び陶器類に止まりしと雖も今後尚は一層密に搜索を爲すときは骨管、石槌、石棺等をも發見することあるべし因に和田氏は先般歸朝の際仁川に於ける石器に對して其年紀を坪井理學博士に質したるに博士は「凡そ七八千年前の古器に類す」と謂ひ頗る貴重のものゝ由なれば若し今後發見したる古器は可成散逸を防ぎ一韓の博物館又は帝國大學へ献納して保存を圖りたきものなりと語れり

●短刀を持て亂入

近々太平町にて發行すべき法政新報の社員たる吉田某は同社に使用すべき機械を二百何十圓にて江川活版所より購入し社長宋兌燮へは四百何十圓なりと稱して二百圓餘の口錢を貪りしを斯くとは知らず目下度支部印刷局に勤務する某が同社に至りし際社長より聞きて其件の機械は江川にて二百幾十圓にて買ひたるものなりと口走りしため茲に吉田の露顯に及びたるが吉田は非常に無念がり一昨夜長谷川町の右某方へ短刀を携へて亂入したるも折柄當の敵たる某が不在なりしため何事も無かりしがさりとて物騒千萬と云ふべし

●配達出拂 午後七時三十分

廿八日（華氏）最高温度 八七・六 最低温度 七九・四

●氣の早い若者

昨廿九日午前〇時四十分頃本町三丁目日本莊酒店々員張觀了（二六）が旭町歌舞伎座前に於てフクサを遺失したる爲め附近搜索中折柄通合はせたる旭町一丁目理髪業神崎己之助方雇人上田福松（二五）に向ひ若しや拾得はせざるやと尋ねたれば福松は大に立腹し觀了の面部を殴打したるを折柄巡査來合はし其儘南部署へ引致せしが説諭の上放還す

●仁川の炭疽熱

仁川多所面如意里金守日方の牡牛は再昨日炭疽熱に罹り斃死したるより仁川警察よりは署員及び矢野獸醫出張正規の消毒をなし地下に埋沒したり

●自轉車乘の喧嘩

仁川仲町二丁目佐藤次三郎と云ふが一昨日午後五時頃自轉車にて海岸通りより濱町に通行中水産組合の船夫馬場鶴松と衝突し爰に一場の喧嘩を始め將に大活劇を演ぜんとしたる所に警官が巡回し來り双方に説諭を加へて引き分れしむ

●二錢五厘の喰逃げ

明治町二丁目二十一番戸坂本佐市（三一）は昨廿九日午前七時半頃南部駱洞李顯基（三五）方に於て二錢五厘の飲食を爲して其儘遁走せんとせしを李の爲め交番に突出されしも遂に支拂を爲し事濟

●ぽん太の休業

長唄に掛けては京城の藝妓中其右に出づる者なき花月樓のぽん太は神經痛の爲め暫く引籠り休養する事となり一昨日限り一先づ廢業したり

●仁川韓妓の檢梅

仁川開花洞朝鮮敷島韓妓の檢梅は一昨日午後勵行せられたるが總員四十九名の内梅毒患者は九名ありたり

●財布を拾得す

一昨廿八日旭町一丁目に於て鰐皮製金入五十四錢五厘及山川清一と記入せる名刺在中の者を拾得して其筋へ屆出たるものあり心當りの者は同署に申出づべしと

●領收證を遺失す

朝鮮日々社員某は一昨廿八日本町五丁目より長谷川町南大門間に於て金額凡百圓の廣告領收證數葉を遺失せり

●安樂椅子の賣出

本町五丁目舶本商店にては紳士淑女の家庭用として輕便なる安樂椅子（堅固なる鐵製にして覆布は取除きて洗濯し得べく重量輕くして取外し携帶することを得）を賣出せしが食後の新聞閲覧午睡等には殊に妙なり價は大人用十二圓五十錢小兒用七圓

●公判だより

來る三日法務院に於ける公判刑事の部左の如し

窃盜村田國吉同岩崎健作同伊藤太郎右門外二名同未遂増田正太郎強盜安勝市吉同殺人等中家節三郎詐欺宮島芳之助同渡邊忠治同南山長造贓品故買平山多三郎

●花柳界だより

長唄藝妓として評判高かりし花月のぽん太は神經痛の爲め當分休養する事と相成候元々此妓は借金なしの自前藝妓なれば休まうと廢めやうと自由自在の身とは結構なる次第に候▲井門の喜多八が壯俳の卵たる金澤武雄に血道を揚げての大逆上との事を某紙に揭載せしを左樣な事なしとて翌日の紙上に之を打ち消し居たるが花柳子の聞く處にては實際喜多八の方から大熱々で以前伊井一座で歌舞伎座に開演中は姐さん金澤の宿所へ來て白度を務めし由喰蓼ふ虫も好き〳〵とやらヨツポド喜多八も物數寄と相見へ候▲中檢藝妓で本名の同じき者は撫華亭の評判妓梅之助が白石はるで同亭の今奴は河合はる花月の十郎が橋本はる年齡は今奴が一番年長で二十七次は十郎の二十六一番婆さんの樣で其實若いのが梅之助で廿五とか聞及び候（花柳子）

演藝

▲歌舞伎座 彰義隊愛澤一座本日第十回目の替り藝題は「日本男兒」全七場にして重なる役割は左の如し

高松夫人百合子（西井）親族平岡（本田）父親五良兵衛、松五郎女房れてん（桂木）神原五郎（河野）都築權藏（角村）車夫倆五郎（五川）高利貸彌兵衛（中村）大工政公（二大和）紳士上野（間宮）高松中將、審判官佐藤良則（松村）僧寶庵（小谷）高松園子、娘れ幸（小神）大工芳公（天草）歩兵大尉仁禮常三（愛澤）憲兵三上（三島）憲兵大尉玉置誠（美崎）秋月男爵、大工松五郎（篠崎）公認人本田正澄（川上）

食道樂

▲南大門エーテー 此の亭は純然たる料理屋でないから之れを料理店として批評するのは同亭主の迷惑かは知らぬが僕は何うも云うものか此亭が好きなんだ西洋料理の一品、丼の一杯、アイスクリームの一盞を喫するにも態々出掛けるが手輕で加之に何品を食べても美味いんだ、材料が新鮮な爲なんだらう、現に昨日も土用の丑の日と云ふので鰻丼を食つたが敢て第一流とは云へんが價よりは確かに二三段方美味い、最負と云ふものは妙だ錢を出して物品の食べて其の廣告迄爲て行る氣になる變なもんだ、電話は六百八十七番が夫れなんだ（食辛棒投）

西洋料理や支那料理で暑中は日本料理に限る此の頃龍山で…も濱江の鰻は食…ないから不味…スクリーム賣…のか知ら同情…

不平民文庫

▲京龍仁を通じて第一の婆アが藝妓は有明樓の勇次だらう世が世なら孫でも連れて南山は本願寺の本堂に珠數爪繰つて後生願に餘念もなかるべき所だが三世相を繰つて見ると前世に於て隣の猫に紙袋を冠せて猫チャ〳〵を踊らせた其報に依つて今世は斯くの如し

とある、當人は明治元年の生れだと云ふが本當は掃部さまの殺されたとか云ふ噂さを小供心に薄すり覺つて居ると云ふ人もあるが君は知らんことか上手ですね旭町の角力で云つたが念の爲入場差し支へなし借君の云ふことを決議したい（藝者）

△此の種の投書を歡迎す

●眼病薬の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲無料紹介欄▼

人事部

●中等教育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし 氏名在社(三〇一)

●年卅五多年電氣工務(又簿記精通)の經驗有り市内保證人有り相當處に雇はれたし 氏名在社(三〇二)

●被雇度 簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舗等に被雇度給料不望保證人あり 氏名在社(三〇四)

●小僧入用 十四歳以上十七歳以下のもの一名至急入用委細面談大漢門前泰洋服店

●下女入用 十六七歳より廿三四歳迄のもの數名入用 南大門通 紅葉

●行商人募集 石油行商人二十五歳以下身体強壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三丁目韓組(三〇七)

●英文代書 通譯懇屬 本町一の七五中村

●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし 氏名在社(四一三)

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)

物件部

●電話讓渡 格安又は月賦讓渡の相談に應ず 氏名在社(三〇〇)

●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したし 氏名在社(三〇六)

趣纖機械廿臺〇縄撚機械〇藁打機械一臺安價に賣却す大和町一の二一九 渡邊方山本

●地所賣却 第一銀行建築場に接近せる大道目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり 本町一の七五 中村

●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)

廣告

解雇廣告

京城支社外交員

飯野淺成

右不都合の廉あり昨日限解雇す

七月廿八日 滑稽新聞京城支社

東京產婆學校卒業

產婆 荘野キヌ

龍山十五間道路 鐵道官舍十六號一

卸 小賣

京城本町一丁目

富士の里茶舗

電話九七九番

●●●滋養と牛乳●●●

純良 牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

●●●衛生と消毒●●●

馬車配達

東京

正札付 大安賣

値も引なし 安心して買へ升

本店東京 京城大和町一丁目日の出横 藤井出張店

夏物見切反物出張販賣

期日七月二十五日より 巴城舘に於て

◉商品種目

一島絽羽織地及着尺薄物 一伊勢崎名仙

一單帶一單男帶 一博多及絽九寸

一本場結城紬 其他

謹啓陳者暑氣甚しく御座候處各位愈々御淸適に被渡奉大賀候却說弊店義先年錦地へ出張の砌りは非常なる御厚配を蒙り難有奉謝候就ては今回目下流行の新柄夏衣各種持參仕候へ共時機遲延の爲め見切品として極々安價を以て販賣仕候間御買上の有無に不拘是非共御一覽の榮を賜り度候

追て品物は電話其他にて御注文次第直に持參御高覽に可供候

東京市日本橋區本石町三丁目

ちゝぶや事 關根呉服店出張

(電話本局三九六)

夜店御披露

盆栽を主とし其他各種陳列候に付納涼方々御出向被下度候

來る八月一日より毎夜開店仕候

場所 長谷川町一丁目通り

尙出店御希望の御方は長谷川町繁榮會事務所(電話千日十四番)へ至急御申込被下度候

明治四十二年七月

長谷川町繁榮會

營業科目

活版活字鑄造 石版 銅版 木版 彫刻 ロータイプ版 寫眞版 罫線 製本 裝訂

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ營業繼續致候間倍舊愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番

時計卸小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目 電話架設中

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

本店 京城本町三丁目(電話四一〇番)

出張所 同南大門驛構内(電話七三二番)

▲清潔の下宿▼

客室の淸潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸橫小路(元花屋跡)

▲懇切の下宿▼

かめ屋

◉氣候變化=牛乳

◉牛乳=純良=消毒

韓國畜產株式會社

南大門外(電話八八番)

★株式會社百三十銀行 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戶

電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌、

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立

資本金一千萬圓

京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番

事務所 京城本町二の三 電話〇六〇番

株式會社第一銀行韓國總支店

電話番號 長第一一番 國庫部、發行部、營業課、當直用 第三一一番 國庫部、發行部、營業課用 第六一番 支配人、調査部、文書課用 第六二二番 用度係、分析所用 第三三三番 臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店 大阪、兵庫、

出張所 京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關

出張所 伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店 仁川、大邱、

出張所 釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤、開城、城津、咸興、馬山、鏡城、

淸國出張所 安東縣

右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

店舗御望の方は造作附譲たし

移轉に付き

メチヤ〳〵大安賣

廿四日より當分の內壹足に付定價の

一圓引

御賣は特に御相談可申上候

京城本町六丁目

富田第一支店

中元大賣出し

漬物味噌醬油製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、壚辛、日本食鹽各種特約販賣 御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

消毒 殺菌

京城大和町壹丁目

山牧場

電話一三三

待合 春日

待合貸席 月の家

本町五丁目三八 電話一〇七四

株式會社十八銀行京城支店

(電話四二〇)

本店 長崎市築町

支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 八拾萬圓

京城南大門通

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

韓國 日本 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

電話十番

仁川海岸通 電話三九番

貨物及船客取扱店 郡回漕店

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 八月一日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 八月五日正午時出帆

●大連、太沽、牛莊行 山東丸 八月十七日午前四時出帆

●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 七月

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲六號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城南大門通小門通 京城新報 電話六三番